

## 5 ソフトボール指導者養成講習会

- (1) 期日 昭和42年6月17日～18日  
(2) 会場 福島女子高等学校  
(3) 講師 福島県教育庁保健体育課指導主事 石井源次  
日本ソフトボール協会審判認定部長 宮倉 博  
〃 副部長 高橋武勇  
〃 東北審判認定部長川畑孝士  
福島県ソフトボール協会審判部長 佐藤克己  
〃 審判認定委員佐藤寿夫  
福島県ソフトボール協会審判認定委員齊藤光正  
(4) 対象 体育指導委員、市町村教育委員会関係者、青少年団体指導者、小中高校教員、その他  
(5) 参加者 98名  
(6) 内容 ソフトボール競技規則の解説  
ソフトボール審判の実技  
(7) 概況 受講者には審判員の資格を与えたので参加者も多くしかも熱心であった。ソフトボールの正しい普及に役立つものと思われる。

## 6 スポーツ少年団大会

- (1) 期日 昭和42年7月22日～24日  
(2) 会場 原町市北泉海水浴場キャンプ地  
(3) 対象 スポーツ少年団指導者、リーダー、団員  
(4) 参加者 51スポーツ少年団 135名  
(5) 内容 キャンプ生活とキャンプファイア  
水泳その他各種スポーツ、ゲーム、歌唱の指導と交歓、無形文化財相馬野馬追見学  
(6) 概況 好天に恵まれたことと原町市スポーツ少年団、原町市教育委員会関係者の協力により事故なく終了できた。昭和43年度はより多くの団員が参加できるよう配慮したい。

## 7 教育キャンプ村開設

- (1) 期日 昭和42年7月22日～30日  
(2) 会場 耶麻郡猪苗代町天神浜  
(3) 講師 福島県教育庁保健体育課体育係長 松山六郎  
〃 指導主事 石井源次  
福島大学助教授 佐藤克己  
耶麻郡猪苗代町月輪小学校長 渡部義健  
〃 長瀬小学校教諭 星 譲郎  
(4) 対象 指導者（教員又は教育委員会関係者）の引率する中・高等学校生及び1グループ10名以上100名以下の団体  
(5) 参加人員

第 1 班	7月22日～24日	371名
第 2 班	7月24日～26日	278名
第 3 班	7月26日～28日	245名
第 4 班	7月28日～30日	355名
計		1,249名

- (6) 内容 キャンプ生活とキャンプファイア、歌唱、ゲーム、水泳等の指導・交歓キャンプファイア  
参加団体の計画による登山等

- (7) 概況 本年は他の行事の都合で開村期間を短縮したので入村希望に応じ切れなかった、期間延長の要望が強かったので希望に添えるよう期間延長を考慮したい。

## 8 第5回東北ユースラリー開催

- (1) 期日 昭和42年7月28日～30日  
(2) 会場 いわき市～磐梯高原～猪苗代町  
(3) 対象 東北各県ユースホステル関係者  
(4) 参加者 156名  
内訳 岩手県 33名 秋田県 31名 山形県 32名 宮城県 14名 青森県 15名 福島県 31名  
(5) 内容  
第1日 開会式（いわき市民会館）～市内パレード～ハワイアンセンター～三崎公園～ホステル着～歓迎ミーティング  
第2日 ホステル出発（バス）～野口記念館～磐梯高原～桧原湖（歩き）～五色沼～国立磐梯青年の家～キャンプファイア  
第3日 講演、映画、閉会式（青年の家）  
(6) 概況 関係者の協力により本県の風物、文化、歴史、産業等を参加者に紹介し、この間親睦、友情を深め所期の目的を達成できた。

## 9 スポーツテスト判定員養成講習会

- (1) 期日及び会場 昭和42年9月7日 郡山市立芳山小学校  
〃 9月8日 会津若松市立第一中学校  
(2) 講師 福島県教育庁保健体育課係長 松山六郎  
〃 主事 齊藤 久  
須賀川女子高等学校教諭 阪路光男  
(3) 対象 小中高校教員、市町村教育委員会関係者・スポーツ少年団関係者、体育指導委員  
(4) 参加者 郡山会場 64名  
会津若松会場 67名  
(5) 内容 スポーツテスト実施の意義について  
壮年体力テストについて  
測定方法の実際  
結果の処理と活用の方法  
(6) 概況 本年度より新たに実施の壮年体力テストをとりあげたので市町村教育委員会関係者が多かった。測定の方法は学校、町村によって多少異なっている所があった。更に徹底して正確な資料を得てこの活用をはかり体育の振興を期したい。

## 10 体育の日の行事

- (1) 期日 10月10日（体育の日中心）  
(2) 会場 県下76市町村  
(3) 参加者 136,299人  
(4) 実施 多かったものは家庭バレーボール、野球、ソフ